

消 防 秋 田

第十八回全国女性消防操法大会 大館市女性消防隊が全国準優勝を獲得



会場の日消中央消防訓練場

地域社会の形成のため一層の活動を希望する。」とあいさつ。
午前十時から軽可搬ポンプ操法による競技が開始され、本県の大館市女性消防隊は、第1コースの二十一番目に、奥村牧子隊長が率いる渡部留美子指揮者・高橋直美一番員・佐藤妙子二番員・鳥潟賀子三番員・今野美貴子補充員

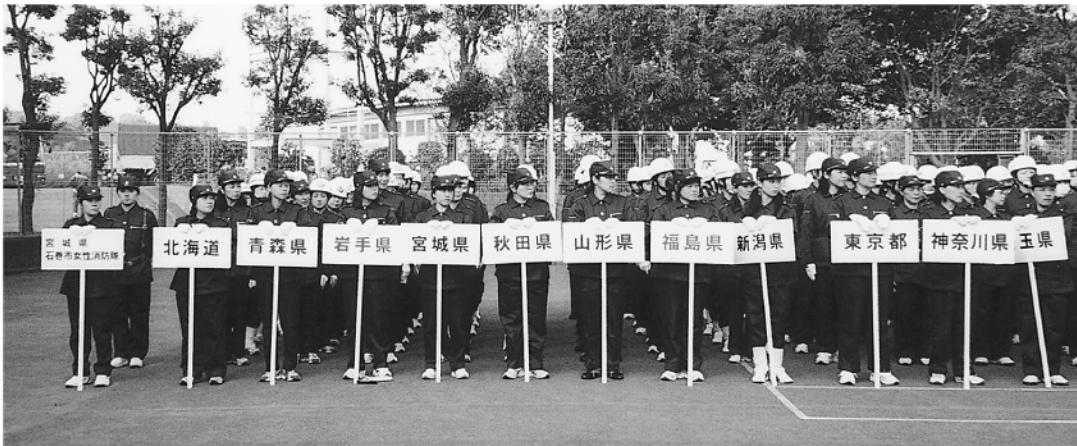
第十八回全国女性消防操法大会は、さわやかな秋晴れの晴天に恵まれた平成十九年十月二十五日(木)横浜市戸塚区の日本消防協会中央消防訓練場で全国都道府県から四十七隊が出場して行われた。
午前九時に前回優勝の宮城県石巻市女性消防隊のあと北海道から建制順に整然と入場して開会。
開会に当たり、本大会の会長である片山虎之助日本消防協会会長が、「女性消防隊は、消防団の後方支援活動とともに地域の家庭防火のリーダーとして重要な役割を果たしている。皆様は、都道府県代表の女性消防隊であり、日ごろの訓練の成果を遺憾なく発揮してほしい。本大会を契機に防火防災の連携の輪が広がり、災害のない住みよい



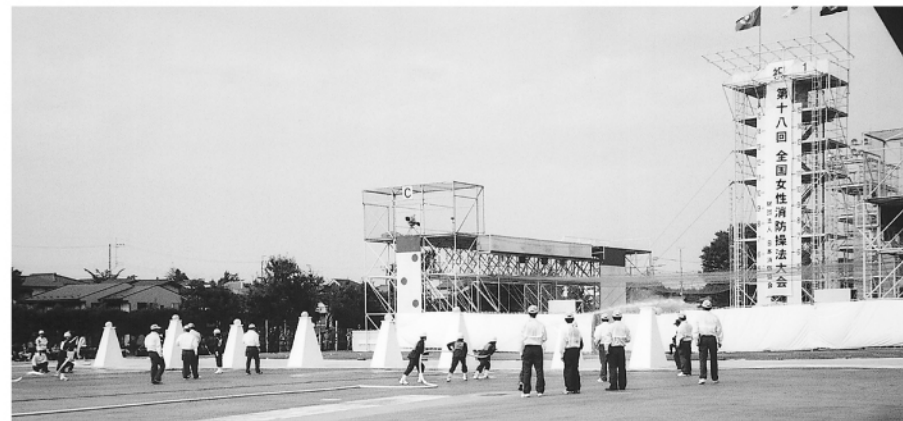
選手を激励する中泉協会長

題 字
初代会長 松野 盛吉
定 価 1部 5円
(購読料は年会費を含む)
発行人
〒010-0951
秋田市山王四丁目1番2号
秋田地方総合庁舎内
秋 田 県 消 防 協 会
会 長 中 泉 松 之 助
電 話 018-867-7320
FAX 018-863-5910
E-mail:ask@biscuit.ocn.ne.jp

印 刷
〒010-0951
秋田市山王7丁目5-29
株式会社 松原印刷社
電 話 018-862-8760



入場前に整列する各県隊



放水する大館市女性消防隊

の七名が登場、操法では日ごろの訓練の成果を如何なく発揮して、土気・規律、迅速な行動、チームワーク、確実な動作など各審査部門で高得点し、タイム五四・八九秒総得点八十八点で、見事四十七出場隊中二

平成十九年度全国統一防火標語
『火は見てる あなたが離れる その時を』

位の準優勝となり、消防庁長官賞、日本消防協会長賞を受賞して表彰状と楯並びに全隊員に銀メダルが授与された。

会場では、地元からかけつけた齋藤支部長をはじめとする消防団幹部、隊員及び家族など多くの応援団は歓喜に包まれ、隊員がお互いの健闘を讃え涙ぐむ姿には感動した。

なお、優勝は総得点九十八点で岐阜県恵那市女性消防隊に、準優勝は本県のほかに鹿児島県出水市女性消防隊に決定。このほか優秀賞三隊、優良賞六隊、優秀選手賞として指揮者及び一番員から四番員まで各一名がそれぞれ表彰された。

今回の全国準優勝について奥村牧子隊長



消防庁長官賞表彰



喜びの準優勝

は、「日ごろの練習の成果が発揮されれば十分と思っていたが、全員の頑張りによって準優勝になり本当にうれしい。まったくの初心者もいたが、十二年前の全国大会の出場経験者二人がリーダーシップを発揮して支部大会を終えたあたりから力をつけてきていた。この度の栄誉は、私達を支えてくれた消防関係者の皆様そして家族のおかげだと感謝している。この感動を忘れることなく今後とも地域防災の一翼を担うため更なる訓練、活動に励みたい。」と喜びと抱負を語ってくれた。

本当におめでとーございます。



平成十九年度秋田県婦人防火研修会が、県・県少年婦人防火委員会の主催で平成十九年十月二十五日(木)午後一時から、秋田市山王三丁目秋田県庁第二庁舎八階大会議室で県内婦人防火クラブ員、市町村消防担当者、各消防本部職員など一六〇名が参加して行われた。

研修会では、「婦人防火クラブの現状と課題について」、「住宅用火災警報器について」の二つのパネルディスカッションが行われ、「住宅用火災警報器について」のパネルでは、県内各地のクラブ役員が地域での警報器への取り組みを紹介。設置に向けた活動を展開しているが平成二十三年まで

平成十九年度 秋田県婦人防火研修会開催される

の設置義務の猶予があることなどから設置が遅れている現状が明らかになった。

また、平成十八年の県内の火災で四十二人が亡くなったが、これは統計を取り始めて以来過去最高で人口十万人当たりの死者数も三・七人と全国値の一・六人の倍以上となっており、亡くなった方は六十五才以上の高齢者が七二・七%と高く、その死亡理由も逃げ遅れが最も多く、住宅用火災警報器の設置促進により死亡者が大幅に減少するものと期待されるとの報告があった。

住宅用火災警報器の設置促進には、地域での共同購入を行った横手市が共同購入によって市価の二割安の値段で購入できたこと、またこれによって複数購入家庭も多くあったことから、今後、このような取り組みが全県で広まることを期待したい。

トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ
消防被服全般
秋田県代理店

株式会社 高義商会

- (営業種目)
- トーハツ小型動力ポンプ
 - モリタ自動車ポンプ
 - 消防被服全般
 - 防災報知器各種
 - 消火器各種



〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32
TEL(0183)(42)2125
〒012-0844 湯沢市田町 TEL(0183)(73)2588



秋田わか杉国体 大成功で幕を閉じる

第六十二回国民体育大会「秋田わか杉国体」は、九月二十九日から十月九日までの十一日間、県下の市町村で三十八競技に全国四十七都道府県の三万人が集って行われた。

本県にとつて四十六年ぶりの国民体育大会は、「君のハートよ位置につけ」を合言葉に多くの県民が一人一役の県民総参加の大会として、国内最大のスポーツの祭典にふさわしく大きな盛り上がりを見せた。

特に、本県選手団が郷土の熱い期待に応え、各種目で大健闘し、本県初めての栄えある天皇杯「男女総合優勝」、皇后杯「女子総合優勝」を獲得し、全県民に大きな感動とともに、誇りと自信を与えてくれた。

この度の国体は、昭和三十六年の「秋田まごころ」国体を再現すべく、「秋田の心」を全国からお出でいただいた皆様に伝えるため、さまざまなふれあいの場の工夫、特色ある食の提供など秋田らしい温かい心で接することに努めた。このような秋田県民のお客様を迎える気持は、県外の多くの皆様にも十分伝わったものと思われる。

また、県内の消防関係者の皆さんも、九月十七日の集中豪雨での被害対策の最中ではあったが、市町村の要請などによる環境整備、競技場設営、選手の受け入れなど多くの分野でこの国体への協力をされたことに對して本当にご苦勞様と申し上げたい。

秋田わか杉国体は終わったが、私達は、国体で得たおもてなしの心、他県の人々との交流、県民の固いきずな、天皇杯・皇后杯を勝ち取った競技力など数多くの国体遺産を、これからの県勢発展に活かしていかなければならない。

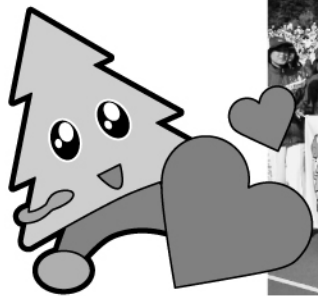


総勢1,100人が参加した式典前演技

大人気の国体マスコット「スギッチ」



秋田県選手団入場



株式会社 タカギ

秋田県横手市寿町1番28号
TEL (0182) (32) 3880

(営業種目)

| | | |
|------------|---|---------|
| 日本機械自動車ポンプ | ◆ | キンパイホース |
| トータツポンプ | | シバウラポンプ |
| 各種消防機械器具 | | 各種消火器 |
| 消防設備保守点検 | | |

ホームページ <http://www17.ocn.ne.jp/~takagi/>
E-mail ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp



天皇杯、皇后杯獲得で万歳三唱の県選手団



奥山利八前副会長が、秋田県消防協会の推薦に基づき九月十三日付で日本消防協会名誉会員に委嘱され、このほ

○奥山前副会長が日本消防協会名誉会員に委嘱される

日本消防協会が、平成十九年度・二十年度に防火用ポンプ、標準的な救助機材、AEDなどを積載した多機能型車両を各都道府県に一台ずつ配備する計画は、本年五月二十四日の日本消防協会代議員会で決定されていたが、この度日消が各都道府県の配備年度を決定し、本県への配備が平成二十年度となった。

○多機能型車両の本県への配備は平成二十年度に

お知らせ

本日、ここに秋田県消防学校初任教育第六十一期総員五十七名の教育修了にあたり、ご来賓をはじめとする多数の方々のご臨席を賜り、盛大かつ厳粛なる修了式を挙げて頂いたことを、まずもって心から感謝申し上げます。今こうして私達がこの場に晴れ晴れとした表情で望むことができるのは、学校長をはじめ、この六ヶ月の間、私達に厳しくも心温かい指導を全身全霊で注ぎ授けて下さった教官、学校関係者、所属の先輩など、



由利本荘市消防本部 齋藤賢太郎

消防学校初任教育 第61期生のことば

―修了式の答辞より―

そして私達を育ててくれた家族のおかげと強く感じております。修了生一同、心からお礼申し上げます。

この六ヶ月を振り返るとたくさんのご経験がありました。入校当初、不安と緊張の面持ちでしたが、友人が出来、消防の基礎をたくさん学び、厳しい訓練を重ねるにつれ、言動、行動は自信に満ちたものへと変貌を遂げました。これは、ひとえに教官のおかげであることは申し上げるまでもありませんが、それとここにいるよき仲間であり、時にはライバルであった五十七名がいたからこそ、互いに切磋琢磨しあえ、成長できたのです。

そして、多くの行事や訓練が私達の絆をより一層深めてくれました。足を引きずりポロポロになってゴールした今日歩大会では困っている人を助けるという心を学び、防災航空隊との連携を兼ねた野営訓練やそれぞれの所属から来て指導して頂いた救急の座学ではその技を学び、暑い日差しの中で

ど委嘱状が授与された。

日本消防協会では、正会員ではないが、過去に役員を務めた者などを名譽会員として遇しており、奥山さんの永年の功績が認められたものであり、お慶び申し上げます。

○東北地区消防協会事務局長会議開催

東北地区消防協会事務局長会議が、九月二十七日(木)に福島市で開催された。

全国的に高齢化、少子化の影響等で消防団員の減少が続いており、議論はその一点に集中した。くしくも、本県が本年度に県から受託した「わがまちの消防団活性化支援事業」の紹介をしたところ、事業内容や進め方について各県から多くの質疑があり、各県とも同じことで悩み、苦闘している姿が浮かびあがった。また、国の公益法人改革制度(新制度の

の渡過や登はん、消防活動訓練など過酷な訓練をこなすことで、自然と体は鍛えられ、集大成であった学校長査閲ではチームワークと訓練の成果を十分に発揮でき達成感でいっぱいでした。私達がこの半年間で身に付けたものは、これからの消防人生の中でかけがえのない一生の宝物です。

春、夏、秋と季節も移り変わり、私達も大きく成長し、今私達を必要とする現場にいよいよ飛び立つときが来ました。混沌とした社会情勢の中、様々な災害、ニュースが日々世間を騒がし、地域住民の安全を脅かしています。また、同時に私達消防に寄せる期待は計り知れないものがあります。

こうした期待に応えるべく、私達は日々のたゆまぬ努力を続け、より一層精進していく所存であります。この学校で身に付けた、たくさんさんの宝物を糧に、地域、さらには秋田県全体の消防の益々の発展に資することを誓い、答辞といたします。

平成十九年九月二十一日

法施行が平成二十年十二月一日頃)に伴い、各県の取り組みについても意見交換した。特に、税務当局が協会の収益事業に関心を示しており、日消の福祉事業に深く切り込まれると県協会の存亡にも及ぶとの意見も出された。いづれ、各県が同じ課題を抱えているので、今後密接な情報交換など連携して対応する必要があるとの意見の一致をみた。

○ラジオ放送「おはよう!ニッポン全国消防団」について

昨年実施して好評だったラジオ放送「おはよう!ニッポン全国消防団」を今年四月から放送しています。各界の有名人名による消防団応援団の皆さんと消防団員との電話対談を毎週一回(日曜日)六時十五分からの十分間、ABS秋田放送で放送しております。どうぞ、お聞きください。

地域の防災、災害対策に貢献!

消防ポンプ自動車
小型ポンプ
ホース

設備火災報知器
スプリンクラー
消火器

猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目10番9号 TEL018 (863) 1551代
猿田興業ビル7F FAX018 (824) 3651

森田ポンプ ラビットポンプ
桜ホース・ソフト吸管 消防被服一式
各種消火器 消防機器一式

株式会社 協立
株式会社 能代消防センター

〒016-0846 能代市栄町12の3
TEL (0185) (52) 6361
(52) 6494